京都外国語大学校友会教志会
令和元年度英語教育実践報告研究会　報告書



日時　：　2019 年(令和元年)7 月 28 日（日）
13 時―16 時 50 分
場所　：　京都外国語大学 4 号館　5 階　452 教室
参加者　：　52 人

１）開会挨拶
教志会　会長 左近　正則

２）講演
講師　京都外国語大学外国語学部長
外国語学部英米語学科教授　倉田　誠 先生



演題「英語口と英語舌でネイティブの発音」
英語を発音するときの顎の動き、口の開け方、舌の位置について、①子音（p, t, k の破裂音）②母音 ③音連結 ④弾音化の４つに分けてわかりやすく解説された。映画やドラマのシーンから特徴的な例を挙げられ、参加者が楽しく発音の基礎を学ぶことができた。

３）実践報告　3 名



①山本　和真　先生（大阪府立野崎高等学校）
「チャレンジ精神を育む英語指導実践」
「授業の準備にかけた時間が生徒の成長につながる」の信念のもと、教材研究に始まり、発言しやすい雰囲気作りや会話テストなどで、生徒のモチベーションを高めていく取り組みを紹介された。



②加藤　陽之先生（京都府立桃山高等学校）
「新大学入試に向けての指導実践　」
リスニングの比重が大きくなる新大学入試に向けて、リスニングによる概要理解や音読に重きを置いた授業展開を紹介された。



③森　正登 先生（兵庫県立宝塚高等学校）
「技能別に特化した授業の取組について」
１つの教材を１時限目は ALT との発音・音読、２時限目は Q&A による内容理解と暗写、３時限目は英語での要約とエッセイライティングと、技能別に習熟度を深める取り組みを紹介された。

４）研究会閉会後（17 時―18 時 30 分）４号館６階迎賓スペースで懇親会を持った。情報交換の場として有意義な交流の時間となった。

以上